

亀岡市行財政改革大綱 2020-2024 実施計画  
令和6年度上半期 取組結果

亀 岡 市



## 実施計画 取組項目一覧

### 柱 1 質の高い行政サービスの創出

#### 重点取組事項 ①市民目線に立った窓口サービスの構築

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
1	窓口サービスの充実・事務改善	企画調整課・市民課	保険医療課、高齢福祉課、障がい福祉課、税務課、情報政策課、窓口業務関係課	実施	実施	実施	実施	実施

#### 重点取組事項 ②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
2	市政情報の共有化と広報、広聴機会の充実	広報プロモーション課	情報発信を行う各課	実施	実施	実施	実施	実施
3	市民協働の推進	市民力推進課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
4	公民連携によるまちづくり	企画調整課	全課	実施	実施	実施	実施	実施

### 柱 2 職員力の最大化

#### 重点取組事項 ①分野横断的な組織体制の構築

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
5	庁内連携システムの確立	企画調整課	全課	実施	実施	実施	実施	実施

#### 重点取組事項 ②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
6	人材の育成、職員研修の充実	人事課・市立病院経営企画室	-	実施	実施	実施	実施	実施
7	人事評価制度の運用	人事課	-	実施	実施	実施	実施	実施
8	業務効率を高めるためのICTの活用	企画調整課・情報政策課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
9	電子決裁の推進	総務課	企画調整課、財政課、会計課	実施	実施	実施	実施	実施

### 柱 3 財政基盤の安定化

#### 重点取組事項 ①経常的経費の見直し

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
10	経常的経費を含む事務事業の検証	財政課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
11	元金償還額を上回らない市債の発行	財政課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
12	公共施設マネジメントの推進	財産管理課	各施設所管課	実施	実施	実施	実施	実施

#### 重点取組事項 ②受益と負担の見直し

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
13	受益者負担の適正化	企画調整課・教育総務課	使用料・手数料の所管課	実施	実施	実施	実施	実施

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-①市民目線に立った窓口サービスの構築

実施計画シート							
No.	1	取組項目	窓口サービスの充実・事務改善				
所管課	企画調整課・市民課		関係課	保険医療課、高齢福祉課、障がい福祉課、税務課、情報政策課、窓口業務関係課			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口で提出する書類の簡素化や市民への効率的な案内方法等について、充実、事務改善を図る。</li> <li>・死亡届に伴う各種手続きについて、事前予約制による職員派遣型ワンストップ（※）窓口として、おくやみ窓口を設置する。</li> </ul>						
期待される効果	窓口業務の見える化と効率化により、待ち時間を減少させる。複雑な手続きが座って落ち着いた環境で出来る。高齢の遺族も安心して手続きが出来る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	<b>①窓口業務のあり方の検討</b>						
	対象となる窓口業務の洗い出し（庁内調査）		準備	実施	実施		
	他市の状況調査		準備	実施			
	窓口業務のあり方の検討・改善			準備	実施	実施	実施
	<b>②おくやみ窓口の設置</b>						
	各業務の対応時間確認、連携方法の検討、業務フロー決定		実施				
設置場所・設備関係の調査 設備の設置		実施					
おくやみ窓口の運用			実施				
目標指標	数値目標	見直しを検討・改善した窓口業務数	—	—	1	20	20
		おくやみ窓口の設置	90%	100%	—	—	—
	実績値	見直しを検討・改善した窓口業務数	—	—	14	22	
		おくやみ窓口の設置	100%	—	—	—	—

進捗管理シート						
R6年度 実施状況	上半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務のあり方の検討（窓口のデジタル化の推進）		実績	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務の事務改善、デジタル化の実施（11件）
	下半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務のあり方の検討（窓口のデジタル化の推進）		実績	
実施結果の 自己評価	評価					
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組						
今後の方向性			コメント			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画		II目標		III妥当性

※ワンストップ…1カ所の窓口カウンターで手続きをすること。

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の 取組実績</p>	<p><b>【窓口業務の事務改善、デジタル化の実施状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●窓口サービスのデジタル化：2業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境プロモーションセンターの施設レンタル手続き（環境政策課）</li> </ul> </li> <li>※貸切等使用に関する申請・許可・使用料納付 <ul style="list-style-type: none"> <li>・おたふくかぜワクチン接種に係る償還払い手続き（健康増進課）</li> </ul> </li> <li>●各種申請・手続きのオンライン化：9業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・調整給付金支給事務に係る各種手続をオンライン化（企画調整課）</li> </ul> </li> <li>※公金受取口座の活用、受取口座の申請、問い合わせフォーム <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険料の還付手続き（保険医療課）</li> <li>・国民健康保険歯周疾患検診の利用券申込手続き（保険医療課）</li> <li>・「がん患者のアピアランスケア助成金」の申請（健康増進課）</li> <li>・がん検診に係る各種申込手続き（健康増進課）</li> </ul> </li> <li>※免除申請、胃がん検診受診券発行申請、市外受検に係る申請 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぴったりサービス各種申請受付（保育課） <ul style="list-style-type: none"> <li>①教育・保育給付認定申請兼保育所（園）・認定こども園入所申込</li> <li>②教育・保育認定申請</li> <li>③保育施設の現況届</li> </ul> </li> <li>・旧学校施設の使用申請のオンライン化（教育総務課）</li> </ul> </li> </ul>
<p>今後の課題</p>	<p>（企画調整課）公金受取口座については、振込不能の割合が約0.1%となり、有用性が確かめられたが、市民全体の登録率が約6割にとどまることから、利便性を周知し、登録者数を増やす必要がある。</p> <p>（保育課）一部電話で確認が必要な事項があったため、今後もどの程度、個別対応が必要か検証する。</p> <p>（教育総務課）申請内容を1件ずつPDF化し、ダウンロードする事務が発生するため、効率よく事務を進められないという課題もある。</p>
<p>今後の取組内容</p>	<p>・引き続き他市の事例等も参考にしながら、窓口業務の事務改善、デジタル化の実施を推進する。</p>

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	2	取組項目	市政情報の共有化と広報、広聴機会の充実				
所管課	広報プロモーション課	関係課	情報発信を行う各課				
取組内容	市政情報の市ホームページ、SNS等による積極的な発信						
期待される効果	積極的な発信によって市政情報を共有し、市民の市政への参画の促進を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	情報発信に対するレスポンス数の調査		実施	実施	実施	実施	実施
	調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の年度総計	310,000	315,000	640,000	640,000	640,000
	実績値		753,486	756,034	528,453	406,959	

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 (市ホームページ全体の訪問者数、各SNSアカウントのフォロワー数)		実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計 (上半期) 225,805件(対前年0.3%減少) <参考> ・HP全体の総ユーザー数: 701,574人(対前年5%減少) ・SNS計38,903(対前年112%増加)	
	下半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し		実績		
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)	
未達成の原因と 今後の取組							
今後の方向性			コメント				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の 取組実績</p>	<p>昨年度に比べて、ホームページ全体のアクセス数は減少したものの、LINE、Facebook、Instagramのフォロワー数は増加した。 同時に、Instagram広告・YouTube広告などを配信をしたことで、亀岡市を認知し、一定の興味をもって市HPに訪問する層の確認ができた。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">※令和5年度同時期</td> </tr> <tr> <td>■ 亀岡市公式ホームページ（TOPページ）のPV数：186,902</td> <td style="text-align: right;">(191,732)</td> </tr> <tr> <td>■ SNS合計数：</td> <td style="text-align: right;">(34,692)</td> </tr> <tr> <td>・ LINEアカウントの友達数：</td> <td style="text-align: right;">(23,856)</td> </tr> <tr> <td>・ Facebookフォロワー数：</td> <td style="text-align: right;">(4,580)</td> </tr> <tr> <td>・ Instagramフォロワー数：</td> <td style="text-align: right;">(6,256)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">(226,424)</td> </tr> </table> <p>合計 225,805</p> <p>&lt;参考&gt; 亀岡市公式ホームページ全体の総ユーザー数：701,574人（対前年5%減少）</p>		※令和5年度同時期	■ 亀岡市公式ホームページ（TOPページ）のPV数：186,902	(191,732)	■ SNS合計数：	(34,692)	・ LINEアカウントの友達数：	(23,856)	・ Facebookフォロワー数：	(4,580)	・ Instagramフォロワー数：	(6,256)	合計	(226,424)
	※令和5年度同時期														
■ 亀岡市公式ホームページ（TOPページ）のPV数：186,902	(191,732)														
■ SNS合計数：	(34,692)														
・ LINEアカウントの友達数：	(23,856)														
・ Facebookフォロワー数：	(4,580)														
・ Instagramフォロワー数：	(6,256)														
合計	(226,424)														
<p>今後の課題</p>	<p>・ 既存アクセス者の居住地・年代・性別・趣味趣向などのデータをもとに、こういったターゲットに対して、亀岡市の情報を、どのくらいの量・頻度で届けるのか、事業ごとに詳細に検討し、その精度をあげていく必要がある。</p>														
<p>今後の取組内容</p>	<p>・ 上期の反応をもとにレスポンス数の調査を行う。 ・ デジタル広告を軸にSNSのフォロワー増加と公式ホームページへの流入の増加を目指す。</p>														

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	3	取組項目	市民協働の推進				
所管課	市民力推進課	関係課	全課				
取組内容	職員や市民、事業者等に対して地域の課題解決の必要性やそのための市民活動と協働について理解を広める手法を検討し、実施する。						
期待される効果	市民活動に参画する機運が高まり、関わる人が増える。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	市民活動と協働について理解を深める手法の検討・知る機会の創出		実施	実施	実施	実施	実施
	地域課題の共有と課題解決に向けた協働の促進		準備	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	-

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 中間支援組織の機能強化に向けた取組の実施		実績	亀岡市ホームページにおける広報、まちづくり協働推進委員会の開催（1回） かめおか市民活動推進センター委託団体と意見交換（1回）	
	下半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 中間支援組織の機能強化に向けた取組の実施		実績		
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)	
未達成の原因と 今後の取組							
今後の方向性			コメント				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の取組実績</p>	<p>①亀岡市の広報誌やホームページ、SNSで市内の団体の行う事業（後援事業）や市民活動を支援する制度の広報を行った。（40件）          また、令和5年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金の事業報告の貼りだしをギャラリーかめおか及び市庁舎で行うことで、一般に広く周知するとともに、市職員向けにも活用事業を紹介することにより周知を行った。</p> <p>②まちづくり協働推進委員会を開催し、事業予定の検討や市の支援制度に応募のあった事業についての協議を行った。（1回）</p> <p>③亀岡市支えあいまちづくり協働支援金活用団体の活動見学に市民も参加できる体験会を行った。</p> <p>④かめおか市民活動推進センターの運営等について委託団体と意見交換を行った。（1回）</p>
<p>今後の課題</p>	<p>・より多くの市民等に市民活動への参画を促すために、情報発信や事業内容の充実を図る必要がある。</p>
<p>今後の取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりワークショップの開催（2回）</li> <li>・市民活動や協働に関する事例の提供</li> <li>・中間支援組織の機能強化に向けた協議・検討</li> </ul>

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート							
No.	4	取組項目	公民連携によるまちづくり				
所管課	企画調整課		関係課	全課			
取組内容	民間企業等との連携、民間活力の導入について検討し、公民連携によるまちづくりを進める。						
期待される効果	民間活力を導入することで、行政サービスの質の向上を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	民間企業等との連携、協定締結の推進		実施	実施	実施	実施	実施
	包括協定（※）に基づく施策の推進		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-		-	-	-	-

進捗管理シート							
R6年度 実施状況	上半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定に関する状況把握 他自治体を参考に今後の公民連携のあり方検討		実績	上半期の協定締結状況及び連携協定の活用状況 の調査実施 包括協定を4件締結	
	下半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定締結結果の検証 他自治体を参考に今後の公民連携のあり方検討		実績		
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)	
未達成の原因と 今後の取組							
今後の方向性			コメント				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

※包括協定…特定の分野に限ることなく、幅広い分野において協力しながら、取組を進めるために締結する協定のこと。

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の 取組実績</p>	<p>≪民間企業等との包括協定締結：4件≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●締結先：一般社団法人日本農業 協定締結日：令和6年4月3日 連携内容：有機農業を核とする持続可能な農業の普及拡大及び地域社会の発展に寄与することを目的とする。</li> <li>●締結先：佐川急便株式会社 協定締結日：令和6年9月5日 連携内容：災害対策を核として、持続可能で暮らしやすいまちづくりと地域活性化に寄与することを目的とする。</li> <li>●締結先：学校法人瓜生山学園京都芸術大学 協定締結日：令和6年8月1日 連携内容：文化芸術の普及及び人材育成に努め、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展を目的とする</li> <li>●締結先：NPO法人才の木 協定締結日：令和6年7月31日 連携内容：「木育」により、人と木や森との関わりを主体的に考え、ふるさとを愛する豊かな心を育み、自然と調和した魅力あるまちの創造を図ることを目的とする。</li> </ul> <p>≪民間企業等との個別連携協定締結：4件≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●連携・協力に関する協定 協定締結日（締結先）：令和6年8月29日（キャンパスゲート(株)）</li> <li>●電気自動車を活用した脱炭素化及び強靱化に関する連携協定 協定締結日（締結先）：令和6年4月23日 （4者協定：ニチコン(株)、日産自動車(株)、京都日産自動車(株)）</li> <li>●未来づくり環境パートナーシップ協定 協定締結日（締結先）：令和6年7月24日（(株)ごみの学校）</li> <li>●未来づくりパートナーシップ協定 協定締結日（締結先）：令和6年9月9日（アマタホールディングス(株)）</li> </ul> <p>≪令和5年度までに締結した連携協定の活用状況≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●合計195件（包括協定11件、個別協定：184件）</li> <li>●令和6年度上半期の主な取組・成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日放送グループホールディングス(株)との包括連携協定に基づき、番組制作放映等によるメディアプロモーションを展開した。</li> <li>・大塚製菓(株)との包括的連携に基づき、標語コンテストを後援し、小中学生の熱中症対策啓発、朝食摂取啓発、災害備蓄啓発に寄与した。</li> <li>・ソフトバンク株式会社との連携協定に基づき、「ポイ捨てごみゼロプロジェクト」を実施、LINEを活用したごみ投稿データにて集めたデータを収集。</li> <li>・亀岡商工会議所とアクサ生命保険(株)との健康経営の普及促進及び健康増進に関する協定に基づき、健康増進・健康経営に関する企業向けセミナーを開催。</li> </ul> </li> </ul>
<p>今後の課題</p>	<p>（地域福祉課）福祉避難所の設置運営に関する協定については、福祉避難所の開設実績がなく、開設のためのノウハウが不足していることから、近年大規模化する台風や豪雨などの自然災害に備えるため、協定済事業所と定期的な開設訓練を実施する必要がある。</p>
<p>今後の取組内容</p>	<p>・引き続き連携協定の活用状況の把握に努め、他市事例も参考にしながら、所管課に対して有効活用の働きかけを行う。</p>

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-①分野横断的な組織体制の構築

実施計画シート							
No.	5	取組項目	庁内連携システムの確立				
所管課	企画調整課		関係課	全課			
取組内容	様々な行政課題に対応するため、プロジェクトチームやワーキンググループ等を活用し、課を越えた横の連携を強化する。 組織の活性化と行政運営の効率化を図るため、プロジェクトチーム等の設置のあり方を見直す。						
期待される効果	横の連携を強化することで、施策の推進や行政課題の解決を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用		実施	実施	実施	実施	実施
	プロジェクトチーム、ワーキンググループの現状及び課題の把握		実施	実施	実施		
	プロジェクトチーム、ワーキンググループ設置のあり方を見直し			準備	実施	実施	実施
	多様な連携方法の検討・試行					実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	-

進捗管理シート							
R6年度 実施状況	上半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用	実績	上半期の設置状況及びこれまでに設置したプロジェクトチーム、ワーキンググループの活用状況の調査実施、マニュアルの作成作業実施		
	下半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 運用マニュアルの検証・見直し	実績			
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)	
未達成の原因と 今後の取組							
今後の方向性			コメント				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の取組実績</p>	<p>                     ≪プロジェクトチーム、ワーキンググループ等の設置：3件≫                      ●アユモドキチャットボット活用に係るワーキンググループの設置                      設置日：令和6年6月11日                      目的：環境プロモーションセンターにおけるPR施策として、アユモドキチャットボットを導入するにあたり、より効果的な運用に向けて多様な視点や意見を取り入れる。                       ●未来・エコロジックミュージアムプロジェクトの設置                      設置日：令和6年9月10日                      目的：①環境先進都市に向けた将来ビジョンの策定                      ②将来ビジョン実現に向けたロードマップの策定                      ③未来移行戦略の策定。                       ●フローラサイクル ワーキンググループの設置                      設置日：令和6年9月17日                      目的：全国都市緑化フェアin京都丹波の機運醸成に向け、市民及び本市職員等の認知を獲得し様々な企画の実現に向けた本市職員の主体的な協力体制を構築する。                       ≪これまでに設置したプロジェクトチーム等の活用状況≫                      ●令和6年度上半期の主な取組・成果                      【下水道フェスティバルプロジェクトチーム】                      ・9月7日開催の第42回下水道フェスティバルの会場設置及び運営についての協議                 </p>
<p>今後の課題</p>	<p>・プロジェクトチーム等の活用による効率的・効果的な行政サービスの向上のため、課を超えた横の連携の強化のさらなる浸透が必用である。</p>
<p>今後の取組内容</p>	<p>・プロジェクトチーム等の設置目的を明確にし、目的達成に向けた一定のルーム化を行うためのマニュアル完成に向け作業を継続する。</p>

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-2一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート							
No.	6	取組項目	人材の育成、職員研修の充実				
所管課	人事課・市立病院経営企画室		関係課	—			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修や階層別研修、派遣研修等の実施効果の検証や見直し等を行い、職員研修の充実を図る。</li> <li>・日々発生する医療の課題に対して、各部署参加の委員会、研修会を実施し、病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力を強化する。</li> </ul>						
期待される効果	職員の業務能力の向上、職員の仕事に対するモチベーション向上						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	①人材の育成、職員研修の充実						
	研修計画の策定と運用		実施	実施	実施	実施	実施
	職員研修、他団体への派遣研修		実施	実施	実施	実施	実施
	②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化						
	医療安全管理に係る研修会		実施	実施	実施	実施	実施
感染対策に係る研修会		実施	実施	実施	実施	実施	
目標指標	数値目標	選択希望制研修の延べ受講者数	100	105	110	115	120
		医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施回数	2	2	3	3	3
	実績値	選択希望制研修の延べ受講者数	115	80	188	137	
		医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施回数	4	3	3	4	

進捗管理シート							
R6年度 実施状況	上半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会		実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施	
	下半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会		実績		
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)	
	評価						
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)	
未達成の原因と 今後の取組							
今後の方向性		コメント					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	① I 計画		II 目標		III 妥当性	
		② I 計画		II 目標		III 妥当性	

**進捗管理シート（詳細）**

<p>令和6年度上半期の 取組実績</p>	<p><b>【①人材の育成、職員研修の充実】</b>                  ○令和6年度職員研修計画を策定し運用を行った。                  ○職員研修（市主催）を実施した。                  ○派遣研修を実施した。                      JAMP「政策の最先端」                      JIAM「外国人相談窓口の運営」など4件                  ○他団体への派遣研修を実施した。                  株式会社京都パープルサンガ、一般社団法人森の京都地域振興社、京都府、京都先端科学                  大学</p>
	<p><b>【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】</b>                  ・医療安全管理及び感染対策に係る研修を各1回実施                  医療安全管理研修では、169名が受講し、「医療安全に対する意識を高め、正しい患者確認ができる安全文化を醸成する」を目的として、ヒューマンエラー及び正しい患者確認の必要性について理解を深めた。                  感染対策研修では、168名が受講し、職員の要望が多かった手指衛生についての研修を実施。「手指衛生の現状と課題」をテーマとして、手指消毒剤使用量の推移、適切な手指消毒のタイミングや使用量及び今後の課題等について研修を実施し、病院全体で共有し各部署で役立てる。</p>
<p>今後の取組内容</p>	<p><b>【①人材の育成、職員研修の充実】</b>                  ○次年度の研修計画の策定を行う。                  ○上半期に引き続き、職員研修及び他団体への派遣研修を行う。</p>
	<p><b>【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】</b>                  今後も適切な目的で研修会を開催し、継続して職員の能力（対応力）強化に努める。</p>

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	7	取組項目	人事評価制度の運用				
所管課	人事課	関係課	—				
取組内容	職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような人事評価制度の運用を図る。 また、毎年度の実施状況等に応じてより良い評価制度となるよう、制度の見直しを行う。						
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の主体的な職務の遂行及びより高い能力を持った公務員の育成</li> <li>・ 組織全体の士気高揚を促し、公務能率の向上につなげ、住民サービス向上の土台をつくる</li> </ul>						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	人事評価		実施	実施	実施	実施	実施
	<small>(職務目標の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)、フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談(育成面談)、ステップアップ面談)</small>						
	人事評価制度の見直し		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	—	—	—	—	—	—

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)		実績	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)、行動記録表の記入	
	下半期	計画	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談(育成面談)、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証		実績		
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)	
未達成の原因と 今後の取組							
今後の方向性			コメント				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の 取組実績</p>	<p>○人事評価のうち業績評価に係る「職務の目標」を被評価者本人が設定した。「職にふさわしい目標か」「成長につながる目標か」「組織目標を踏まえた目標か」「何を」「いつまでに」「どの水準まで」「どのように」といった視点を踏まえ設定した。</p> <p>○被評価者と1次評価者との間でスタートアップ面談（目標設定面談）を行い、業績評価の「職務の目標」が被評価者にとってふさわしい目標となっているのかを確認のうえ確定し、認識の共有化を図った。職位や組織目標との整合性が取れていない場合は目標の修正を指導した。その他業務遂行に際しての双方の要望や意見等について話し合いを行った。</p> <p>○評価者は部下を評価する際の参考資料として、日頃から部下の行動を見守り、望ましい行動、望ましくない行動、それらに対する指導内容などを随時「行動記録表」に書きとめた。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>・職員のモチベーションや仕事の充実感を高められる運用とするためには、各職員の制度に対する習熟が要素の一つとなることから、継続した運用が必要と考えられる。</p>
<p>今後の取組内容</p>	<p>・上半期に引き続き行動記録表を記入するとともに、1月1日を基準として今年度の能力評価・業績評価・総合評価を行う。また、評価結果のフィードバック面談（育成面談）、ステップアップ面談の実施を通して、能力開発、育成点、キャリアアップ等のアドバイスを実施する。</p> <p>・多面評価の導入に向けた制度の見直しを検討する。</p> <p>※多面評価（360度評価）…自分の行動が、周囲の人にどのように受け止められているかを、本人と、上司や同僚・部下など周囲の人からの情報をもとに客観的に把握する手法。</p>

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	8	取組項目	業務効率を高めるためのICTの活用				
所管課	企画調整課・情報政策課		関係課	全課			
取組内容	効率的で持続可能な行財政運営を推進するため、RPA（※）を始めとする業務の効率化が期待できるICT（情報通信技術）の活用を図る。						
期待される効果	業務の効率化を図り、よりよい市民サービスにつなげる。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	RPAの活用及び活用業務の拡大		実施	実施	実施	実施	実施
	AI-OCR（※）活用及び活用業務の拡大		実施	実施	実施	実施	実施
	AI（※）の活用検討			実施	実施	実施	実施
	ICTツールの調査研究			実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	RPA適用を検討・導入した事務数	3	5	5	5	5
	実績値		5	5	5	5	

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、RPA運用啓発、AI活用に関する調査、 ICTツールの調査研究				実績	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、RPA運用啓発、AI活用に関する調査、 ICTツールの調査研究	
	下半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、AI活用に関する調査、ICTツールの調査研究、 次年度RPA適用業務の検討				実績		
実施結果の 自己評価	評価								
	達成度	計画	目標			目標 (実績値)			
未達成の原因と 今後の取組									
今後の方向性			コメント						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標			III 妥当性			

※RPA…定型的なパソコン操作をソフトウェア型ロボットにより自動化すること。  
 ※AI-OCR…人工知能（学習機能）を搭載した、文字を読み取って文字データへと変換する技術のこと。  
 ※AI…人工知能のこと。

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の 取組実績</p>	<p>○RPA、AI-OCR運用          市民課 : 住民異動月次資料作成          税務課 : 市民税申告書入力業務他                    : 還付伝票作成業務          保険医療課 : 国保ドック受診者宛名番号附番業務（新）他          健康増進課 : 検診受診者宛名番号附番業務          保育課 : 保育所入所決定結果登録業務 他          お客様サービス課 : 漏水減額等還付伝票作成業務          社会教育課 : 放課後児童クラブ宛名附番業務（新）          建築住宅課 : 市営住宅入居者収入認定処理業務（新）          ○RPAシナリオ作成 3本（内製）          ○RPA運用啓発 新規シナリオの運用テスト時にデモを実施          ○AI-OCR単独運用 保育課：第2子以降保育料助成請求業務                            : 企画調整課：調整給付金支払業務          ○AI活用に関する調査            AIチャットボットメンテナンス作業、AI議事録システム運用          ○ICTツールの調査研究            業務手順書作成ツール実証運用、ノーコードアプリ作成ツール検討</p>
<p>今後の課題</p>	<p>・導入した各種ツールを職員が主体的に活用できるよう継続的に支援及び教育を行う必要がある。</p>
<p>今後の取組内容</p>	<p>・下半期についてもRPA新規のシナリオ開発を積極的に行うため、ヒアリングを実施していく。また上半期に実施できていないICTツールに係る研修等を実施し、職員のデジタルリテラシー向上に努める。</p>

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を發揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	9	取組項目	電子決裁の推進				
所管課	総務課	関係課	企画調整課、財政課、会計課				
取組内容	迅速な意思決定と効率的な事務執行のため、電子決裁の浸透と対象範囲の拡大に取り組む。						
期待される効果	事務の効率化・迅速化の推進、コピー使用量及び紙文書の削減						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	運用状況の把握、先行自治体等の調査・研究		実施				
	庁内における推進体制の確保		準備	準備	実施	実施	実施
	環境整備（財務会計システムとの連携、機器の導入、各種規程の見直し）			準備	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	-

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	新システムの構築、更新作業 電子決裁拡大範囲の検討、ルール整理		実績	ワーキンググループ会議の実施 新システム構築、更新に向けた分科会の実施	
	下半期	計画	新システムの構築、更新作業 デモ環境の実施 電子決裁拡大範囲の検討、ルール整理、周知		実績		
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)	
未達成の原因と 今後の取組							
今後の方向性			コメント				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の 取組実績</p>	<p>文書管理システムと財務会計システムの運用開始に向け、庁内ワーキンググループ及び各システム更新に係る分科会（※1）を実施してシステムの構築、更新作業を進めた。</p> <p>【亀岡市電子決裁推進に係る庁内ワーキンググループ】 令和6年度キックオフ 令和6年4月23日 第1回WG会議 令和6年6月28日</p> <p>【システム更新に関する分科会】 文書管理システム 5回実施 財務会計システム 6回実施 システム環境関係 1回実施</p> <p>【主な協議内容】 ・更新、構築スケジュール進捗確認 ・課題事項の共有 ・運用開始に向けた庁内ルール等の検討</p> <p>※1・・・各システム更新に係る市担当者と更新事業者担当者との会議のこと。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>・本格稼働に向けた庁内での事務運用ルールの検討・整理</p>
<p>今後の取組内容</p>	<p>・デモ環境の実施 ・使用者向け説明会</p>

※文書管理システム

庁内の意思決定および市予算の支出決定等を行う文書を作成するためのシステム。電子決裁の導入により、伺い文書を紙に印刷することなく、各職員の業務用PCにおいて閲覧および決裁が可能となった。

※財務会計システム

市の予算管理や支出等の伝票を作成するためのシステム。現在、紙で出力した伝票と伺い文書を会計課が審査する運用としており、伝票審査のため、伺い文書についても電子決裁の対象外としている。

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	10	取組項目	経常的経費を含む事務事業の検証								
所管課		財政課	関係課	全課							
取組内容	経常的経費（※）を含む事務事業の実態を把握、検証した上で、事務事業の取捨選択やスクラップ・アンド・ビルド（※）などを徹底することで、健全で持続可能な財政運営を行う。										
期待される効果	最少の経費で最大の効果を挙げることの徹底										
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6				
実施項目と計画	財政担当による経常的経費を含む事務事業の見直しや改善・課題点などの検討		実施	実施	実施	実施	実施				
	主管課による事務事業の実態把握及び検討		実施	実施	実施	実施	実施				
	検討事項の審査		実施	実施	実施	実施	実施				
	当初予算など編成事務において事務事業の取捨選択やスクラップ・アンド・ビルドなどの実施		実施	実施	実施	実施	実施				
目標指標	数値目標	経常的経費における事務事業の見直し（検討数）					10	10	10	10	10
	実績値						20	13	10	11	

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	改善・課題点等の検討 主管課による実態把握及び改善・課題点等の検討 検討事項の審査			実績	既存事業の見直しについて各課へ照会 要求上限額配分作業実施 財政最適化に向けた取組開始 当初予算編成等検討開始		
	下半期	計画	審査結果に基づく当初予算などの編成			実績			
実施結果の 自己評価	評価								
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)			
未達成の原因と 今後の取組									
今後の方向性			コメント						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性			

※経常的経費…義務的経費（支出が義務付けられている人件費、扶助費及び公債費の合計）のほか、物件費、補助費等で毎年度継続的に支出される経費のこと。

※スクラップ・アンド・ビルド…既存事業の見直しや改善、廃止を意識し、事業の再構築を図ること。

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の取組実績</p>	<p>持続可能で安定した財政運営を維持しつつ、子どもファースト事業や今後控える大型事業にも財源を活用できるよう、次のとおり既存事業の見直し等を実施した。</p> <p>令和6年7月16日 既存事業の見直し等について各部局室へ照会          令和6年8月20日～26日          12部40事業について市長、副市長と各部室局長によるヒアリングを実施</p> <p>上記を踏まえ、スクラップ・アンド・ビルドを徹底することなどにより、経費削減に努め、今後の予算編成につなげる。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>・世界情勢の影響などによる原油価格や物価の高騰が長引いており、財源不足及び追加の経済対策にかかる事業などが見込まれることから、更なる経常経費削減に努める必要がある。</p>
<p>今後の取組内容</p>	<p>・費用対効果等を検証し、当初予算などを編成</p>

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	11	取組項目	元金償還額を上回らない市債の発行				
所管課	財政課	関係課	全課				
取組内容	償還財源に多額の一般財源を充当することから、市政運営の根幹にかかわる事業を除き、市債は、公債費の元金償還額を上回らない発行額とすることで、健全財政を維持する（※）。						
期待される効果	償還財源に多額の一般財源を充当する公債費の削減						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	元金償還額を上回らない市債の発行		実施	実施	実施	実施	実施
	公債費の抑制		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	年度末の市債残高	421.0億円	418.5億円	416.0億円	413.5億円	411.0億円
	実績値		407.4億円	403.9億円	390.6億円	377.7億円	

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	主管課による事業の優先順位等の検討・決定 財政フレーム等の検討		実績	市債発行を伴う事業費について各課へ照会、 優先順位等の検討	
	下半期	計画	検討結果に基づく当初予算等の編成		実績		
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)	
未達成の原因と 今後の取組							
今後の方向性			コメント				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

※一般財源…用途が特定されない財源のこと（市町村税や普通交付税など）。  
 ※市債…学校建設や道路整備のように一時的に多額の費用が必要となる時に、地方公共団体が国や銀行などから借り入れる資金のこと。  
 ※公債費…地方公共団体が長期的に借り入れた資金（地方債）の元利償還金や、一時的に借り入れた資金の利子の支払いに要する経費。  
 ※元金償還額…市債の元金返済額のこと。

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の取組実績</p>	<p>少子高齢化による社会保障関係経費の増加等の課題に対応しつつ、健全で持続可能な財政運営を維持するため、現在の財政制度等が継続すると仮定して、今後、5年間の中期財政見通しを毎年度作成している。</p> <p>今年度の中期財政見通しを作成するにあたり、今後見込まれる普通建設事業等について各部へ照会し、見通し期間中（令和7年度～令和11年度）の市債発行総額の抑制を検討した。</p>
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、義務教育学校「育親学園」の新校舎建設事業をはじめ、新火葬場整備事業等の優先度が高い大規模な普通建設事業を見込んでいるため、市債発行の抑制に努め、健全財政を維持する必要がある。</li> </ul>
<p>今後の取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討結果に基づき、当初予算などを編成する。</li> </ul>

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	12	取組項目	公共施設マネジメントの推進				
所管課	財産管理課	関係課	各施設所管課				
取組内容	公共施設の計画的な維持修繕による長寿命化や施設保有総量の最適化（施設の廃止、統合等）などを検討し、効率的・効果的な施設運営のあり方を検討し、見直す。						
期待される効果	施設の適正化により安定した財政運営を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	施設の廃止、統合等の検討・見直し		実施	実施	実施	実施	実施
	各施設個別計画の策定		実施	実施			
	各個別施設計画の内容精査					実施	実施
目標指標	数値目標	建築施設延床面積削減率（平成28年対比）	1.48%	1.85%	2.22%	2.59%	2.96%
	実績値		3.42%	2.96%	2.77%	2.96%	

進捗管理シート

R6年度 実施状況	上半期	計画	各個別施設計画の内容精査				実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>各個別施設計画の策定・内容精査</li> <li>個別施設計画の進捗状況の確認と目標達成に向けた研究・検討</li> </ul>	
	下半期	計画	亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の開催				実績		
実施結果の 自己評価	評価								
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)			
未達成の原因と 今後の取組									
今後の方向性			コメント						
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性			

※公共施設マネジメント…公共施設の計画的な維持修繕による長寿命化や施設保有総量の最適化（総量縮減）など、市が保有する公共施設を最適に維持管理し、有効活用を図ることで、適切な行政サービスの提供と安定した財政運営を両立させるための取組のこと。

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の 取組実績</p>	<p>令和5年度末時点の延床面積削減率及び各公共施設の設置状況や除却計画を把握することで、「亀岡市公共施設等総合管理計画」に掲げる削減目標達成に向けての推進を図った。また、新規施設については、各施設所管課において個別施設計画の策定を行った。</p>
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな公共施設の建設が計画される中、「亀岡市公共施設等総合管理計画」において目標としている延床面積10.7%削減の達成に向けた既存施設の統廃合など、具体的な方策の検討を進める必要がある。</li> </ul>
<p>今後の取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「亀岡市公共施設等総合管理計画」の10年毎の内容見直しに向けた準備を進める。</li> </ul>

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-②受益と負担の見直し

実施計画シート							
No.	13	取組項目	受益者負担の適正化				
所管課	企画調整課・教育総務課		関係課	使用料・手数料の所管課			
取組内容	受益と負担の公平性を確保する観点から、公共サービスの手数料や使用料について、近隣市との比較による現状分析等を実施し、適正な負担の程度の検証や適正化を図る。						
期待される効果	受益と負担の公平性を保つ						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	<b>①使用料・手数料の検証</b>						
	使用料・手数料の状況把握、近隣市の状況調査		実施	実施	実施	実施	実施
	調査結果の検証、近隣市との比較等による現状分析			実施	実施	実施	実施
	使用料・手数料の適正化の検討・見直し			実施	実施	実施	実施
	<b>②学校施設使用料の検証</b>						
	学校施設使用料の状況把握、近隣市の状況調査		実施				
	調査結果の検証 近隣市との比較等による現状分析		実施				
使用料徴収の適正化を検討・見直し			実施				
目標指標	数値目標	-		-	-	-	-

進捗管理シート							
R6年度 実施状況	上半期	計画	【①使用料・手数料の検証】 ・使用料・手数料の庁内見直し状況調査 ・近隣及び同規模自治体の状況調査			実績	・本市の使用料・手数料の見直し状況調査
	下半期	計画	【①使用料・手数料の検証】 ・使用料・手数料の庁内見直し状況調査 ・近隣及び同規模自治体の状況調査			実績	
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)	
未達成の原因と 今後の取組							
今後の方向性			コメント				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

進捗管理シート（詳細）

<p>令和6年度上半期の 取組実績</p>	<p>【①使用料・手数料の検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本市の使用料・手数料の見直し状況調査を実施</li> <li>●見直した使用料・手数料：1件 (川の駅・亀岡水辺公園) ・展示室使用料：1,000円/3時間→1,000円/1時間</li> <li>●新設した使用料：2件 (環境プロモーションセンター) ・貸切等使用に関する使用料：1フロア午前（9-12時）1,650円 1フロア午後（13-17時）2,750円 1フロア昼間（9-17時）4,400円 1フロア全日（9-21時）7,700円ほか ※市外居住者、市外法人は3割加算 ※通常時、個人利用は無料</li> <li>(川の駅・亀岡水辺公園) ・堤防敷：（バーベキュー・デイキャンプ）3,000円/1区画 （宿泊キャンプ）5,000円/1区画+1,000円/一般1名+500円/小学生1名 ほか</li> <li>(参考) 見直したその他料金：1件 ・証明書等オンライン申請に係る封筒代：6円/1通→0円 ※郵送料は別途必要 （旧）郵送84円+封筒6円 （新）郵送110円+封筒0円</li> </ul>
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで行われた消費税の増額や原価の上昇を念頭に置くとともに、物価高騰による市民生活の負担も考慮しながら適正な受益者負担となるよう検証を続ける必要がある。</li> </ul>
<p>今後の取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、他市の状況も参考にしながら受益者負担の適正化に努める。</li> </ul>